



ノリタケの森



金シャチ横丁



桜通



堀川



中川運河堀留



長者町繊維街



都心部まちづくりビジョン 名古屋市



都心部まちづくりビジョン 平成31年3月

名古屋市 住宅都市局 都心まちづくり部 都心まちづくり課
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
電話番号：052-972-2758
F A X：052-972-4171
メールアドレス：a2758@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp

名古屋の都心は、2027年にリニア中央新幹線（品川・名古屋間）の開業を迎える予定であり、名古屋大都市圏の中核としての重要性がこれまで以上に増すこととなります。新たな時代を迎えるにあたり、これからも魅力と活力にあふれた名古屋の都心であるために、そして名古屋大都市圏を超えてスーパー・メガリージョンのセンターとして日本の成長エンジンとなるためには、官民協働によるまちづくりへの取組みを速やかに進めていくことが必要となります。

このため名古屋市では、行政と民間で共有できる都心部の将来像として、また、都心部を対象として策定された各種のまちづくり計画・構想を総括し全体の方向性を提示するものとして「都心部まちづくりビジョン」を策定することといたしました。また、本ビジョンの内容は、次期都市計画マスタープランの都心部部分に反映することを予定しています。

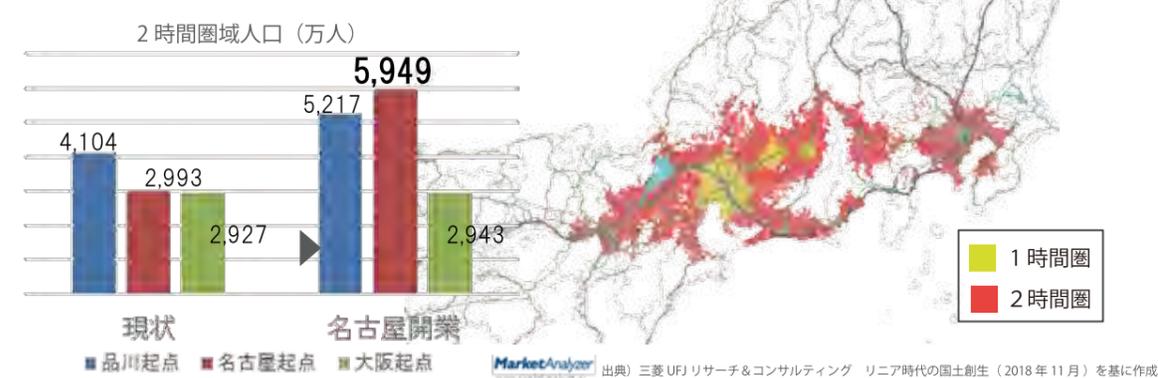
この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

これから先数十年の間の我が国においては、2027年に予定されているリニア中央新幹線の開業による国土構造のとりわけ、現状においても様々な機能・就労人口・交通機関などここでは、名古屋の都心を取り巻く状況

変化、技術革新による産業・社会構造の変化、少子高齢化の進展に伴う人口減少社会の到来など、様々な社会情勢の変化が起こり、などが高度に集積した名古屋の都心は、まちづくりの最前線としてそれらの変化から大きな影響を受けることになるかと予想されます。とこれからの都心部のまちづくりの方向性を検討する土台とするため、リニア中央新幹線開業後の名古屋都心の今後を展望します。

1 リニア中央新幹線の開業、スーパー・メガリージョンの形成

●交流圏域の拡大のイメージ（名古屋 - 品川開業時）



リニア中央新幹線の開業により、東京・名古屋・大阪の三大都市圏が一体となった圏域人口7,000万人からなる世界有数のスーパー・メガリージョンが形成され、これからの日本の成長エンジンとなることが期待されています。これに伴い、名古屋の都心についても圏域の中核としての役割がより一層重要となります。

三大都市圏それぞれの交流圏域も大きく拡大し、とりわけ名古屋駅を起点とした2時間圏域人口は約6,000万人と最大規模になると試算されています。広域交流圏の誕生により、国内外からの来訪者が増加することから、**名古屋の都心における交流人口の増加**も予想されますが、その一方でストロー現象を最小限に抑えることも必要になります。

2 産業構造の転換（自動車産業における変革）

●自動車産業を取り巻くメガトレンド（CASE）



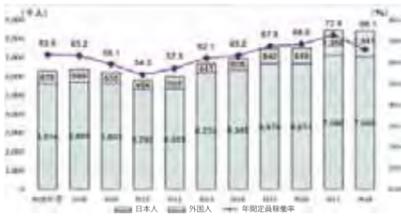
出典) 経済産業省の自動走行とデジタルガバメントに向けた取組 (経済産業省)

IoT（モノのインターネット）、AI（人工知能）などの技術革新、各分野におけるイノベーションの加速度的な進展、新産業の登場などにより、新たな社会の実現が可能になり、私たちの働き方や暮らし方が大きく変わろうとしています。

特に自動車産業に関しては、「自動運転社会の到来」、「動力源の電動化」、「保有からシェアリングへのシフト」、「IoTとの連携」といった潮流のただ中にあり、自動車産業をはじめとする輸送用機械を主体とした「ものづくり産業」の中心である圏域の産業構造や就労構造に劇的な変化をもたらす可能性があります。このため、圏域の中核である名古屋の都心においても、**産業・社会構造の変化への対応**が急務となっています。

3 観光需要の高まり

●名古屋市における宿泊施設の宿泊客数延べ人数の推移



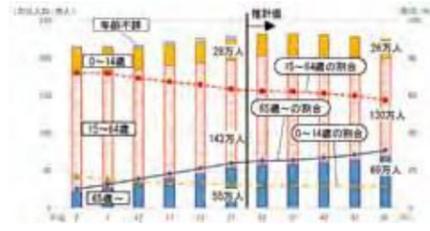
出典) 名古屋観光客・宿泊客動向調査

訪日外国人旅行者数の推移は2014年度から急速に増加しており、2030年の目標は6,000万人となっています。名古屋市においても、訪日外国人の増加に伴い外国人宿泊客数の増加も顕著となりつつあり、市内の宿泊施設の収容人数や稼働率は2009年度から少しずつ上昇しています。

しかしながら、これまでのところ名古屋市における外国人宿泊者数の絶対数については、他都市と比較すると少ない状況が続いており、インバウンド消費も東京都の10分の1以下の水準となっています。名古屋が外国人観光客に選ばれる目的地となるためには、**都心の一層の魅力向上**が必要です。加えて、昇龍道プロジェクトの起点として、周辺観光地との連携強化に資する宿泊機能の強化も必要です。

4 人口構造・動態の変化

●名古屋市の年齢3階級別人口



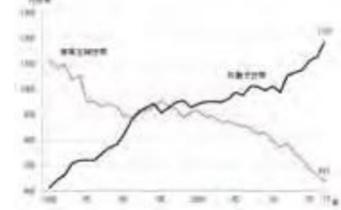
出典) 実績値：なごやweb版、推計値：国立社会保障・人口問題研究所

少子高齢化社会の進展に伴い、東海三県全体としての人口は既に減少局面に入っています。名古屋市においても、2022年頃から人口は減少に転じると推計されています。また、年少人口及び生産年齢人口の構成比率が低くなり、ますます高齢者人口の比率が高まるものと予測されています。一方、外国人人口は増加傾向にあり、特に名古屋の都心（中村区、中区）においては、その傾向が顕著になっています。

このように人口構造が大きく変わりつつある状況下において、高齢者にとっては生活利便性の高さの面で、若年層にとっては就労先の集積状況の面で、名古屋の都心は**都市型ライフスタイルを実現することの重要性**が高まるものと考えられます。

5 価値観や働き方等の多様化

●全国の共働き世帯の増加



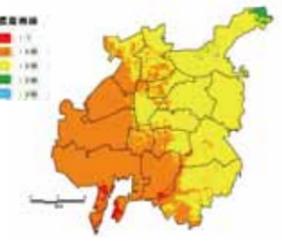
出典) 国勢調査（総務省）

女性の社会進出や共働き世帯数の増加、時間や場所にとられないテレワークを実施している企業が年々増えつつあるなど、働き方が多様化しつつあります。また、インターネットショッピングの普及やシェアリング・エコノミーの規模拡大、都心部を中心とした単身世帯の増加など、消費行動や暮らし方も同様に多様化しつつあります。こうした**働き方や暮らし方の多様化**により、働く場、消費・暮らしの場としての都心の役割が変化しつつあります。

働き方、暮らし方が多様化すれば**価値観も多様化**します。「誰もが自分らしく暮らせるまち」がこれまで以上に求められています。

6 激甚化する自然災害

●あらゆる可能性を考慮した最大クラスの震度分布



出典) 南海トラフ巨大地震の被害想定について - 震度分布、津波高等 - (名古屋市)

南海トラフにおいて、マグニチュード8～9クラスの地震が発生する確率は、今後30年以内に70%～80%と予測されています。また、地球温暖化の進展に伴い、記録的な豪雨が頻発する頻度も顕著に高まっています。

圏域の中核を担う都市機能が集積した名古屋の都心が被災した場合、豪雨による浸水や地震による液状化などの直接的な被害に加え、大量の帰宅困難者が発生するおそれがあり、圏域のみならず、広範囲に影響を及ぼすおそれがあると予想されます。このため、災害に対する**都市の強靱化や発災時の帰宅困難者対策等が課題**となっています。

7 都市の持続性に対する意識の高まり（SDGs等）

●持続可能な開発目標（SDGs）



出典) 国際連合広報センター

気候変動対策や海洋資源の保全などの環境問題への取り組みや、貧困やジェンダーの問題に対する平等で包摂性のある社会の実現への取り組みなど、様々な分野において、SDGs等に基づいた**持続可能な世界の実現に向けた意識**が高まっています。まちづくりの分野においても、これからの都市のあるべき姿として、いつまでも住み続けることができるための取り組みが求められています。

特に大規模な建築物が集中し、またリニア中央新幹線の開業により、多くの人々が訪れることとなる名古屋の都心においては、低炭素や省エネルギーなど様々な側面において環境に配慮したまちづくり、全ての人を受け入れることができる包摂性のあるまちづくりが必要です。

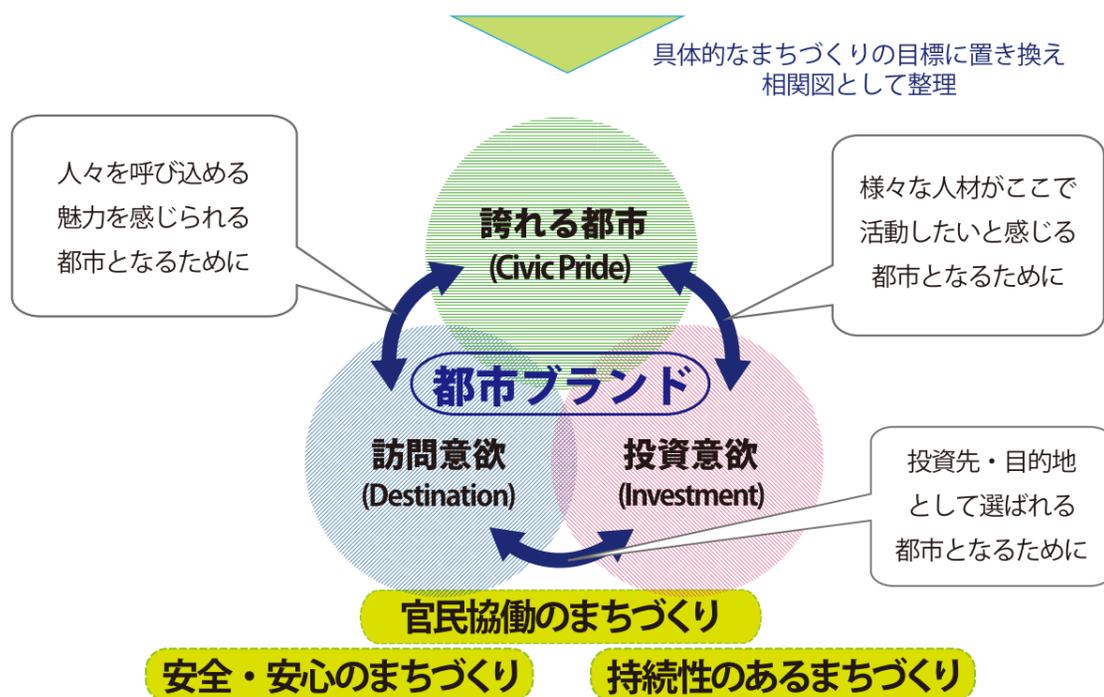
スーパー・メガリージョンとは、自治体よりも大きな単位での圏域を指す概念であり、東京、大阪、名古屋は既にメガリージョンと呼ばれる大都市圏域を作っているといえる。スーパー・メガリージョンは、その三大都市圏をそれぞれの持つ特徴を活かしつつリニア中央新幹線により一体化した世界最大の広域経済圏のこと。
イノベーション… 技術革新。新機軸。経済成長の原動力となる革新。ここでいうイノベーションとは、単なる技術革新ではなく、従来のモノ、仕組み、組織を改革して社会的に意義のある新たな価値を創造する活動全般のこと。

インバウンド… 外国人が訪れてくる旅行のこと。日本へのインバウンドを訪日外国人旅行または訪日旅行という。
南海トラフ… 日本列島に沿って日向灘沖まで延びる細長い凹地（トラフ）。水深4,000～4,800メートル。フィリピン海プレートの沈み込み帯にあたる。西南日本海溝。南海舟状海盆。
SDGs… Sustainable Development Goalsの略称。2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成される。

前頁で確認した「名古屋の都心を取り巻く状況」に基づき、これからの都心部のまちづくりに必要な視点を次のように設定します。

策定の視点

- 1) スーパー・メガリージョン形成による効果の最大化
- 2) 技術革新によってもたらされる産業構造の変化への対応
- 3) 来訪者を増やし交流を促進させる都市の魅力づくり
- 4) 圏域の中核機能と調和した都市型ライフスタイルの提示
- 5) 多種多様な市民活動のステージとなる都市環境の構築
- 6) 大規模災害に備えた都市の防災性能・災害対応力の強化
- 7) 持続可能なまちづくりの推進



策定の方針

上記の策定の視点及び相関図に基づき、都心部の都市構造、地区別・要素別のまちづくりビジョンに共通する3つの方針を設定します。

投資意欲

方針1 国際競争力の強化と民間投資を誘発する環境整備

訪問意欲

方針2 訪れたいくなるワクワク感のあるまちを実現する都市魅力の向上

誇れる都市

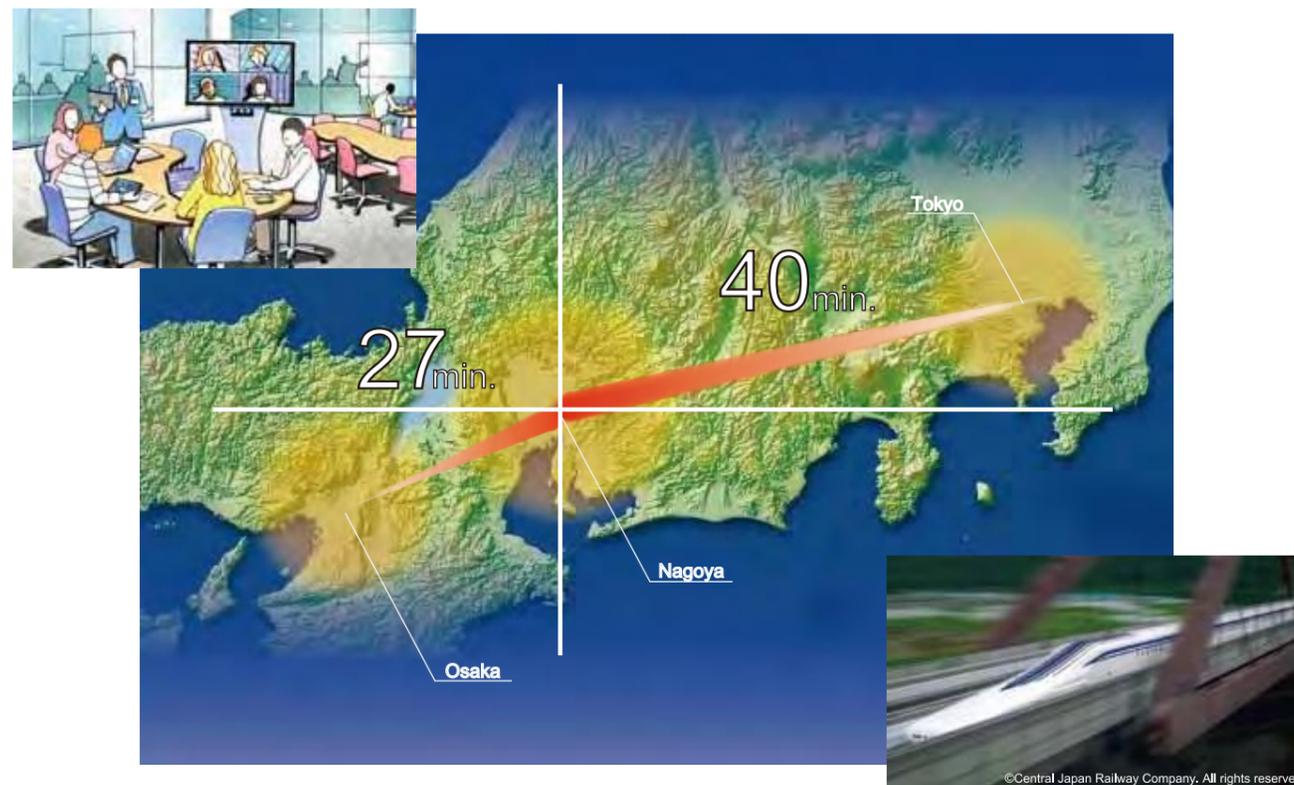
方針3 都会性とゆとりが両立した名古屋ライフスタイルの実現

方針1

国際競争力の強化と民間投資を誘発する環境整備

【将来像】世界中から多様な人々を呼び込みイノベーションを創出するまち

- リニア中央新幹線の開業により、名古屋の都心部と東京が40分で結ばれ、スーパー・メガリージョンの中心に
- セントレアとも直結した名古屋の都心部は、名古屋駅を中心として大交流圏を形成
- 国内外から多種多様な職種・立場のビジネスパーソンやクリエイティブな人材が集まり、交流が促進
- 新たなアイデア・価値を生み出す人材の集積や、ベンチャー企業、研究機関等の立地が加速し、従来からの圏域の強みであるものづくり技術と結びつくことにより、イノベーションを創出
- 老朽建物の更新や災害発生時の帰宅困難者対策が推進され、災害への対応力が向上
- 名古屋の都心部は日本のみならず、世界経済を牽引するまちへと生まれ変わる



【実現に向けて】

- # 都市間競争の激化に対応するための圏域の有する特性・強みを向上させる都市機能の集積
- # リニア効果を圏域に行き渡らせるための広域交通拠点にふさわしい都市基盤の整備
- # 多様な人材の交流促進に資する都市機能を導入する開発に対するインセンティブの付与
- # ベンチャー企業の創業やイノベーションの促進などクリエイティブな人材に訴求するまちづくりの推進 (先端技術等の実装の場としての街自体の活用、グリーンインフラの保全・活用による働く人にとっても魅力的な都市環境の創出等)
- # 民間によるまちへの投資を促進するための合理的な規制緩和の実施
- # 低未利用な公有地を活用した魅力ある開発の促進
- # 市街地環境の改善、都市再生安全確保計画の推進などによる都市の強靱化

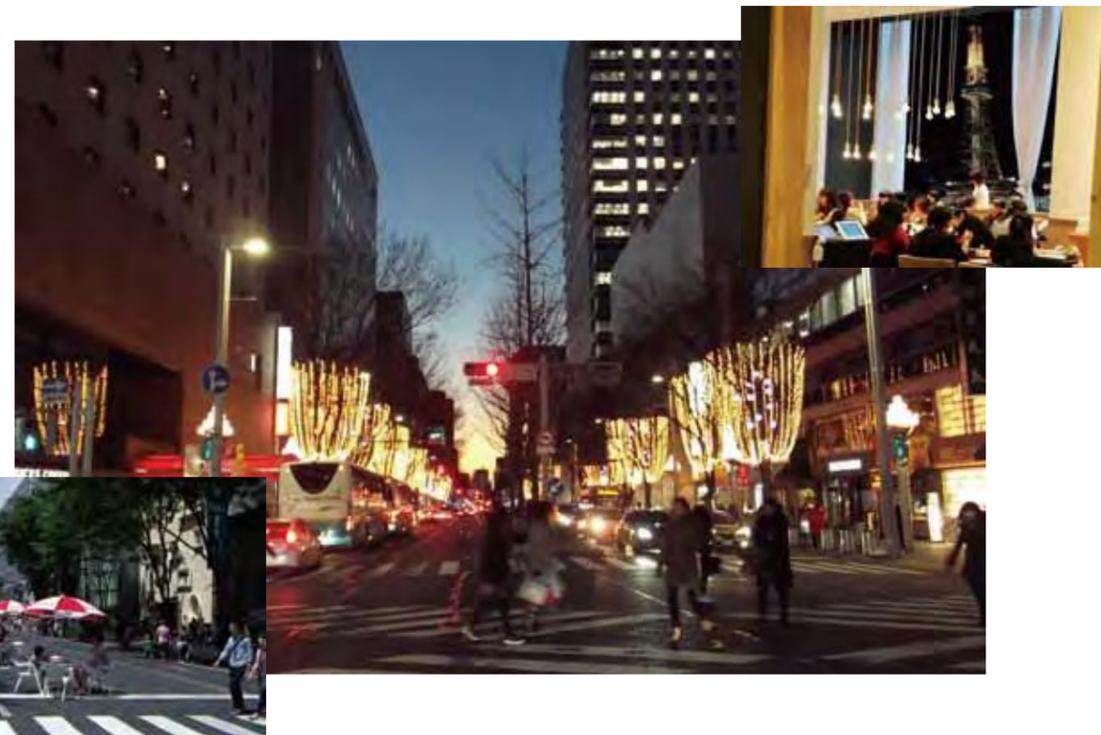
グリーンインフラ…… 社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、緑地や河川などの自然環境が有する多様な機能 (生物の生息の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制等) を活用し、持続可能で魅力的な国土づくりや地域づくりを進めるもの。

方針3

都会性とゆとりが両立した名古屋ライフスタイルの実現

【将来像】 ゆとりを楽しむ名古屋ならではの洗練された都市生活を満喫するまち

- 高級ブランド店や美しい夜景を楽しめるレストランなど、市民にとってハレの場となる都心部ならではの商業施設が集積
- ホールや美術館、カルチャーセンターなどの立地が進み、休日だけでなく仕事帰りでも気軽に芸術・文化に親しむことができる環境を創出
- 緑あふれる大規模公園や堀川などの水辺空間では、多くの市民がゆったりとした時間を満喫
- ユニバーサルデザインの推進などにより、道路・公園などの公共空間が一層洗練された空間として再編・創出され、エリアマネジメント活動など様々な市民活動が活発化するとともに、世代間の交流も促進
- 様々な価値観やライフスタイルを持った人々がまちに集い、誰もが自分らしく生活・活動することができる、都市生活の理想像を名古屋の都心部が実現



【実現に向けて】

- # ワンランク上の都市生活を体感できる高質な商業施設や芸術・文化施設及び都市生活の利便性に資する教育・医療・保育・福祉施設などの都市機能集積の維持・向上
- # 市民の憩いの場となる大規模公園や堀川などの水辺空間等のグリーンインフラの保全・活用
- # 緑化の推進など環境に配慮した開発計画へと誘導することによる良好で魅力的な都市環境の創出（ヒートアイランド現象への対策等）
- # エリアマネジメント等のまちづくり活動の場となる公共的空間の再編・創出や利活用の推進
- # ダイバーシティやソーシャルインクルージョンの考えに基づいたまちづくりを官民連携して推進することにより、全ての人々が受け入れられ、活躍できる都市の姿を実現
- # 地域交流活動の促進のための施設導入によるコミュニティの維持

ダイバーシティ……… 異質であることや、年齢、性格、学歴、価値観などの多様性を受け入れ、その違いを認め、活かしていこうという考えのこと。
 ソーシャルインクルージョン… 社会的に弱い立場にある人々を社会から隔離・排除するのではなく、社会の中で共に助け合って生きていこうという考え方のこと。
 ヒートアイランド現象……… 都心部の地上気温が周辺部に比べて高くなる現象で、都心部ほど気温が高く、等温線が島のような形になることからこう呼ばれている。都市ではコンクリートやアスファルトなど熱を蓄えやすい物質が多く、また諸活動から発生する熱量も大きいことなどが原因と考えられる。

方針2

訪れたいくなるワクワク感のあるまちを実現する都市魅力の向上

【将来像】 快適な都市空間に訪れる人々の賑わいが広がるまち

- 再生された久屋大通公園では様々なイベントが開催され、国内外から多くの人々が栄地区を来訪
- 道路空間が歩いて楽しい歩行者優先のみちへと再配分され、環境にやさしい快適なまちになるとともに、名古屋の都心部を訪れる人々の賑わいがまち全体に展開
- 利便性の高い新たなモビリティサービスの導入や、自転車利用環境の向上により、都心部の回遊性が向上
- 安全、安心、快適な地下街が形成され、周辺のビルと接続することにより、地上と地下が連続した立体的な賑わいを創出
- インバウンド需要から国際会議まで対応できる様々なグレードのホテルが立地
- 名古屋城などの歴史資産、劇場や美術館などの文化施設、ものづくりの歴史を伝える産業観光施設、人気の名古屋めしなど、名古屋ならではの魅力を味わいつくせる都心部へと変貌



【実現に向けて】

- # 名古屋駅周辺や久屋大通等の公共空間の再編・再生・創出
- # 民間事業者による建築更新等の機会を捉えたホールやイベントスペース等の機能の誘導
- # 道路空間の再編による歩行者・公共交通主体の都市空間への転換
- # 建物のセットバック等によって生み出すゆとりある都市空間と豊かな緑を活かした都市景観形成による風格ある都市の表情の創出
- # 先端技術や新しい仕組みを活用した次世代型モビリティサービスによる都市の魅力と利便性の向上
- # 文化、歴史資産活用によるまちのストーリーの見える化によるまちの多様性の向上
- # 拠点間での界隈性の創出やネットワークの強化による回遊性の向上
- # 昼も夜も安心して楽しむことができる防犯性の高い安全なまちづくりの推進
- # 来訪者を受け入れるラグジュアリーホテルやゲストハウス等、多種多様な宿泊・交流機能の強化



名古屋の都心に限らず、都市は駅前など都市機能が高度に集積した「拠点」、主要幹線道路などの「都市軸」など、様々な要素から成り立っています。そして、これらの要素が組み合わせることによって都市はある種の「構造」として機能していると考えられます。このため、本ビジョンにおいては、名古屋の都心の都市構造を要素ごとに捉え、それぞれの要素ごとにまちづくりのビジョンを策定します。

【都心の都市構造】

都心ゾーン		広域的な交通網と結節し鉄道密度の高い地域 (おおむねJR中央本線・東海道本線、出来町通などで囲まれる範囲で名古屋駅周辺等を含む範囲)
都心部		都市機能が集積している名古屋駅・伏見・栄地区を中心として官庁街のある名城地区及び大須地区まで含む区域
拠点		ある程度の広がりをもって都市機能が高度あるいは特徴的に集積したエリアとして、地域の特性を活かした名古屋の顔となるまちづくりを目指す地区

[まちづくりの方向性] 広域交通の結節点としてのゲート性の演出、個性的な界隈の保全や都心居住による職住近接の推進、エリアマネジメントなどの地域まちづくり活動の支援、イノベーション拠点の形成など、市中心部にふさわしい多様性のあるまちづくりを進める。また、防災・環境への配慮、開発と保全のバランスにも配慮する。

[まちづくりの方向性] 土地の高度利用や都市機能の更新、イノベーションの創出を図ると同時に、那古野地区の四間道をはじめとする個性的な界隈においては、景観や地区の特性をしっかりと保全することにより、名古屋ならではの多様性ある中心市街地の形成を図る。

[まちづくりの方向性] 地域の特性を活かしたまちづくりを行うことにより、地区の名称を聞けば名古屋のまちの姿がイメージできるようなまちを目指す。名古屋駅地区、伏見地区、栄地区においては、特に重点的に民間投資の誘導を図る。

【都心ゾーン】

【都心部】

名古屋駅地区

～未来を体感し創造する交流のターミナル～



名城地区

～歴史と文化に彩られた名古屋のまちづくりの礎～



伏見地区

～職・住・遊のプラットフォーム～



栄地区

～訪れる人々が心を解き放つ都心のオアシス～



大須地区

～下町情緒とポップが交錯する庶民文化の象徴～



金山地区

～交通拠点から交流拠点へ～



エリアマネジメントの支援、防災・環境への配慮・開発と保全のバランス、イノベーション拠点の形成

都市軸		都市の骨格を形成する主要な幹線道路及び河川・運河
拠点連携		各拠点を有機的に結びつけることにより、都心部内の回遊性や都市機能を相乗的に向上させるための拠点間の連携

[まちづくりの方向性] 沿道・沿線の低層階の店舗化、オープンカフェなどの公共空間の利活用、ウォークアブルな道路への空間再編、美しい街並みをつくる街路樹、良好な都市景観の形成等により、人の流れを生み出し都心各所を結び付けることにより、都市の賑わいの創出を目指す。

[まちづくりの方向性] 拠点間における複合的なまちづくり施策の展開によって都市の多様性や回遊性を高め、都市機能を相乗的に向上させるとともに、快適に移動できる交通手段も用意することにより、全ての来訪者にとって巡ってみたいくなるまちの実現を目指す。

※本ビジョンにおける「界隈」とは、主要駅の周辺や幹線道路沿道と比べると土地の利用度は高くはないものの、歴史性や下町の風情など独自の個性・魅力をもったエリアのこととします。

※本ビジョンが主に対象としているのは都心部ですが、都心の都市構造の把握に際しましては、都心部に対する副次的な拠点としての位置づけとなる金山地区、及び金山地区を含めた都心ゾーンも記載しております。

《名古屋駅地区》 未来を体感し創造する交流のターミナル



国内外から来訪する人々を迎え入れ、
駅周辺の総合交通結節機能の充実と
約7,000万人交流圏の交通拠点を形
成します

【実現に向けて】

- ・リニアの速達性を最大限に活かすよう、鉄道及びへのアクセス性を向上させることで、名古屋大都市圏の円滑化を図ります。
- ・リニアを含む多様な交通モードの乗換えがスムーズにできるよう、駅前広場や地下空間の機能強化を図ります。
- ・国内外から来訪する人々を迎え入れるターミナル駅として、ユニバーサルデザインなどへの利用者が満足し、円滑な移動ができる空間を形成します。

スーパー・メガリージョンの中心に
多様な人材の交流を促進し、日本を
新たな価値を生み出す、国際的・広
域的な拠点・顔を形成します

【実現に向けて】

- ・新たな価値創造につながるイノベーション施設や高質な宿泊施設や文化施設、外国人向けの生事により、国際的・広域的な拠点形成を図ります。
- ・駅前広場やその周辺において、名古屋圏の魅力を活用し、誘導し、ダイナミクスを促す機能を強化・誘導し、ダイナミクスを促します。また、リニア駅上部空間を活用し、人々まちづくりを進めます。
- ・駅前広場や公共空間と沿道建物が一体となって、風格と都市の魅力を感じさせるシンボリックな都市景観の形成を図り、世界に冠たるスーパーターミナル・ナゴヤにふさわしい空間をつくり出します。
- ・浸水対策や帰宅困難者対策、エネルギーの面的利用等、官民連携の取組みを推進し、安全・安心で環境に配慮したまちづくりを進めます。

魅力ある地域資源を活かした多彩な
相互につなぐことで、一体性のある、
めぐりたくなるまちを形成します

【実現に向けて】

- ・町家から超高層ビル群まで新旧織り交ぜた多様な地域資源の魅力を高め、多様で特色あるまちを形成します。
- ・地域のまちづくり活動の支援と協働により、エリアマネジメントの促進を図ります。
- ・回遊性の高い魅力ある歩行者空間の形成を図るため、快適性の高い歩行者空間の整備や緑化、魅力的な店舗の立地や滞留空間の形成等を行い、人々の賑わいを広げます。
- ・駅前広場やその周辺において、店舗や広場などの効果的な配置により、賑わいを駅からまちへ、まちからまちへつなげます。
- ・都心全体の回遊性向上に資する多様な移動手段の発着地として、拠点の連携強化を進めます。



MICE…企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

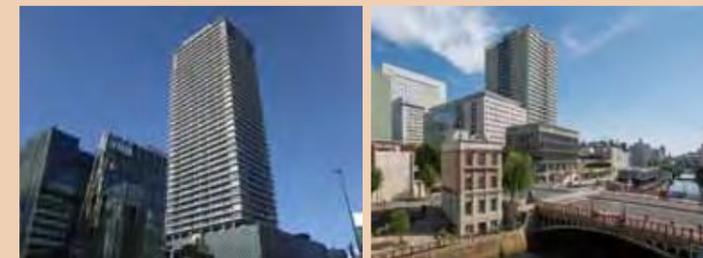
《伏見地区》 職・住・遊のプラットホーム



芸術・文化施設、公園の緑や水辺空間、
歴史的建造物などによって醸し出される
芸術的・文化的な雰囲気を活かしたまちづくりを進めます

【実現に向けて】

- ・歴史的建造物の保存・活用や、公園の緑・水辺空間を活かしたまちづくりにより、落ち着いた街並みの形成を図ります。
- ・民間再開発等の機会を捉え、地区の特性を活かしたまちづくりや魅力資源の利活用を進めることにより、個性あるまちの表情を創出します。



良好な民間再開発の促進により、様々な都市機能と
調和した都心居住を実現するとともに、
地域住民によるまちづくり活動を支援します

【実現に向けて】

- ・市街地再開発事業等により、低層階の店舗化など都市の賑わいと調和した高質な住宅供給を促進するとともに、エネルギーの面的利用等、環境に配慮したまちづくりを進めます。
- ・民間再開発等による市街地整備とあわせたエリアマネジメント等の地域住民のまちづくり活動への支援と協働により、低炭素モデル地区の形成など良好なまちの環境の保全を図ります。



リノベーションなどにより、意欲ある起業家の
創業を促進し、業務機能が集積している従来からの
地区の特性をより一層発展させます

【実現に向けて】

- ・空きビルのリノベーションなどによるスタートアップのための場づくりにより、起業に意欲のあるクリエイティブな人材による創業を促進します。

《栄地区》 訪れる人々が心を解き放つ都心のオアシス



大規模公園をはじめとした公共空間
ゆとりあるシンボル空間として再生
エリアの賑わいを都心全体に広げま

【実現に向けて】

- ・久屋大通を都心のシンボリックな空間として整備することで、都心の情報発信力を強化します。
- ・メインストリートに面した建物低層部への店舗配和した景観形成により、公共空間と民有地が一体
- ・地下街や地下鉄駅などと地上の歩行者空間との連れを創出します。

を洗練された
・活用することにより、
す

るとともに、様々なイベントの場とし
す。
置や溜り空間の設置、公園や通りと調
となった都市の賑わいを創出します。
続性を強化することで、新たな人の流



民間再開発の機会を捉え、様々な楽
商業・娯楽・芸術・文化施設等やオフィ
多様な人材が集まる環境整備を推進

【実現に向けて】

- ・商業・娯楽・芸術・文化施設等を導入することに積を図ります。
- ・イノベーションの担い手となるクリエイティブな方が可能となる快適性の高いオフィスや交流・共
- ・国際的な交流を促進するため、環境の良さを活かす誘導を図ります。
- ・防災対策・エネルギーの面的利用等、官民連携の配慮したまちづくりを進めます。

しみ方や働き方を提供する
ス等の都市機能を導入し、
します

より、来訪者をもてなす集客施設の集
人材にとって魅力となる、多様な働き
創の場の誘導を図ります。
した都心型の MICE 施設や高質なホテ
取組みを推進し、安全・安心で環境に



エリアごとの様々な特色を活かした
多様性のあるまちづくりを進めるこ
名古屋らしさを感じられる都心の魅

【実現に向けて】

- ・地域と一体となった防犯性の高い安全・安心の取夜間のイベント開催などにより、夜も楽しめるま
- ・エリアマネジメント活動への支援と協働により、づくりを促進します。
- ・面的な低層階店舗の誘導やベンチなどの休憩施設創出し、エリア間の回遊性を高めます。
- ・中高層階に住宅を供給すべきエリアにおいては、能と調和した都心居住を促進します。

とにより、
力を向上します

組みを進めるとともに、夜景の演出や
ちづくりを促進します。
地元の主体性を活かした魅力的なまち
の設置など、歩いて楽しい都市空間を
立体的な都市機能誘導により、中枢機

《名城地区》 歴史と文化に彩られた 名古屋のまちづくりの礎



名古屋のまちづくりの礎たる歴史・文化資産を
様々な形でまちづくりに活用することにより、
奥行きと多様性のある都市の姿を実現します

【実現に向けて】

- ・名古屋城天守や本丸御殿などの歴史性に加え、重要文化財である市庁舎等や豊かな緑を有する官庁街の落ち着いた雰囲気や醸成することにより、名古屋都心部の奥行きと多様性を向上します。



他の拠点との連携を強化することにより、
観光拠点の賑わいを都心全体に広げることで、
都市の回遊性を向上させます

【実現に向けて】

- ・休日における官庁街のオープンスペースの活用などにより、官庁街による人の流れの分断解消を図ります。

《大須地区》 下町情緒とポップが交錯する 庶民文化の象徴

大須観音や万松寺などの歴史的な資源と古着屋などの
個性的な店舗の集積した商店街の情緒を大切にすることで、
都心の魅力に多様性と彩りを添えます

【実現に向けて】

- ・老朽化・空き家化した店舗のリノベーションなどにより、街の雰囲気を保全しつつクリエイティブな空間づくりを促進し、創業に意欲のある人材を集め、まちの活気の維持を図ります。



コスプレやアニメなど「ポップカルチャーの聖地ナゴヤ」
としてのブランド確立により、国内外から訪れる誰もが集い
楽しめるまちの雰囲気を醸成します

【実現に向けて】

- ・手軽に様々なイベントが開催できるよう、まちなかに公開空地や広場などの小規模オープンスペースの整備を促進します。



都心部には100m道路である「久屋大通」や「若宮大通」をはじめとする広幅員の幹線道路が縦横に走っており、主要な移動経路としてだけでなく、その沿道において、商業・業務機能などが集まり都市の軸線を形成してきました。また、都心部の貴重な水辺空間である「堀川」などについても都市を貫く軸としてクローズアップしていく必要があります。主要幹線道路と河川・運河という都市の軸が賑わいというおいを創出する空間へと生まれ変わることで、都心部の魅力と機能をより一層向上することとなります。

幹線道路と沿道のまちづくり

- 都心部のシンボリックな通りを人に優しく歩いて楽しいみちへ道路空間の再配分
- 沿道の民有地と一体となった快適な都市空間の整備による賑わいが連続した街並みの形成

【実現に向けて】

- 各幹線道路の交通機能を踏まえた、過度に流入する自動車交通量の抑制
- パークアンドライドの推進やフリッジ駐車場の活用による自動車の都心部への集中緩和
- シンボリックな通りにおける車道から歩道への空間再編や次世代型公共交通への対応
- 歩道上におけるベンチなどのストリートファニチャーの設置による歩行者の快適性向上
- 低層階の店舗化などに対するインセンティブ付与による民間投資の促進により、民有地と一体となった賑わいを道路空間にも創出
- 人にも優しく環境にも配慮した沿道環境とするため、シンボル並木の育成と民有地の緑化の推進

河川・運河沿岸のまちづくり

- 堀川・中川運河・新堀川の環境整備・水辺空間の魅力向上

【実現に向けて】

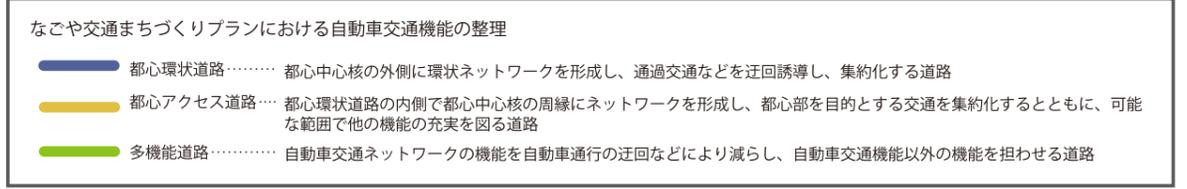
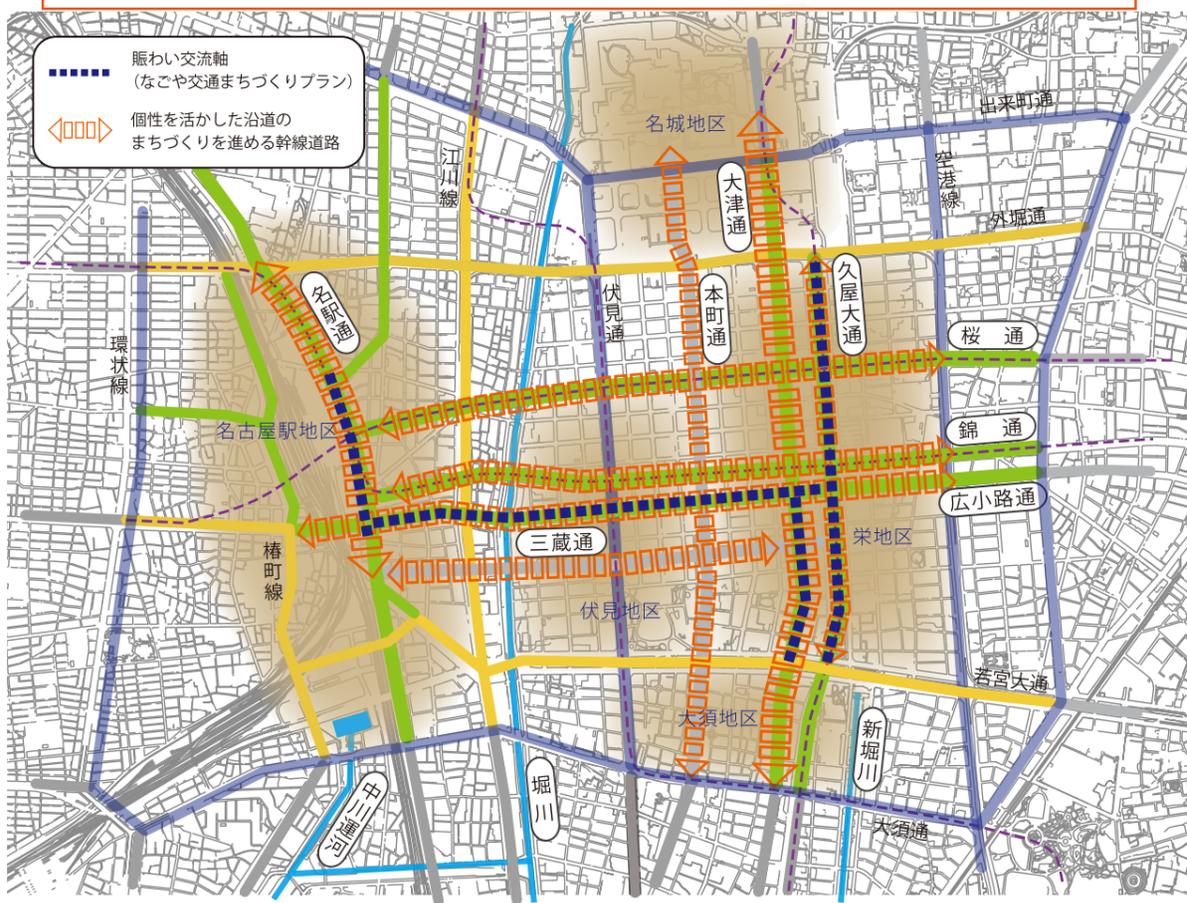
- 水辺環境の魅力向上のための水質の浄化への取り組み
- 水辺を感じ、憩う親水空間の整備等による水辺空間の魅力向上
- イベント開催や散策など水辺空間の利活用による水辺を楽しむ場の創出
- 河川・運河側に向けた店舗配置の誘導による河川・運河の表通り化
- 歴史や文化などで川と周辺のみちをつなぐ一體的な魅力創出
- 河川・運河の沿岸におけるクリエイティブな場づくり
- 水上交通の活性化及びそれと併せた河川・運河からの景観まちづくりのあり方検討



道路・水辺での一體的な取組み

- 沿道・沿岸の建物や広告物のデザイン誘導などによる良好な街並み・ファサードの形成や魅力的な夜景の創出
- 道路や水辺空間の良好な維持管理に資する、地元まちづくり団体との連携強化、エリアマネジメント活動の支援

都市軸のまちづくりの推進により、各拠点の賑わいを都心部に展開し、都心部の各エリアを結びつけることで、名古屋の都心を一體的な構造へ



賑わい交流軸

- 広小路通** 「名古屋都心を象徴する東西軸」
 - 都心部の主要な拠点を結ぶ名古屋を代表する東西のシンボルストリートとして、現存する歴史的建造物やシンボル並木を含めた良好な都市景観の形成と快適な歩行者空間の整備により、平行する錦通と連携して賑わいあふれる快適でうらおいある街の表情をつくります
- 名駅通** 「名古屋の顔となる駅前の交流軸」
 - 高次の都市機能の集積により、賑わいの連続性を図るとともに、名古屋の顔となる駅前のメインストリートとして、圏域の玄関口にふさわしい風格のある街並みをつくります
- 久屋大通** 「緑豊かな開放感あふれる南北軸」
 - 栄地区の象徴たる緑豊かな久屋大通公園を含む南北のシンボルストリートかつエリア有数のイベント空間として、沿道の土地利用と一体となった開放感にあふれた都市空間を形成し、街を訪れる人々に憩い・うらおいと楽しさを提供します
- 大津通** 「トレンドの先端をゆく魅力発信軸」
 - 歩行者天国も実施される圏域屈指の賑わいあふれる通りとして、洗練された魅力的な店舗と人々の憩いとなる並木が連続した、老若男女誰もが楽しめる賑やかで快適な街並みをつくります

- 桜通** 「ターミナル駅の正面に位置する景観軸」
 - 名古屋駅の正面に位置する特性を活かし、名古屋に降り立った来訪者が最初に目にする景観として印象に残る空間を形成します
- 本町通** 「名古屋城下町の歴史をたどる回遊軸」
 - 名古屋城と熱田を結ぶ旧街道に由来する通りとして、名古屋の歴史を感じながら都心を回遊できる仕掛けをつくります
- 三蔵通** 「起業意欲と感性を刺激する創造軸」
 - 都心部の主要なビジネス拠点を結ぶ通りとして、起業意欲を促し、クリエイティブな人々を刺激する創造性豊かな雰囲気をつくります

水辺空間軸

- 堀川・中川運河・新堀川** 「都心の水の魅力軸」
 - 都心部における貴重な水辺空間として、水質の浄化などにより、都市環境の快適性を向上させるとともに、イベント開催などの水辺の利活用、水上交通の活性化、夜景の演出、沿岸の景観整備などにより魅力的な都市空間を創出し、都市のブランド力を高めます

個性的で多様な都市部を実現するための主たる都市軸の将来像

拠点連携のまちづくり

各拠点の持つ機能を有機的に結びつけることで都心部内の回遊性を高めるとともに、都心全体の都市機能を相乗的に向上
あわせて、歩きやすい道路整備に加え、既存の公共交通の利便性向上、新たな路面公共交通システム等により、手軽に利用できる移動手段を確保



『分断要素の解消』



『地域資源の活用』



拠点

都市の多様性・回遊性を向上

都市機能を相乗的に向上

『界隈の魅力向上』



都心界隈は、主要駅の周辺や幹線道路沿道に比べると、土地の利用度は高くはないものの、歴史性や下町の風情など独自の個性・魅力を保全・開拓することで、都市の多様性を向上
あわせて、エリアマネジメント等の地域のみちづくりを積極的に支援

都心界隈のまちづくり

■名古屋駅西とつながる都心界隈

○亀島・則武・米野地区

- 商店街等の賑わい軸を活かし、駅とのつながりを形成する歩いて楽しいまち
- 名古屋駅と秀吉ゆかりの中村公園をつなぐまち
- 名古屋駅に近接する利便性を活かし、共同住宅、戸建て住宅と生活を支える商業施設などが立地するまち
- 旧集落に由来する界隈性と防災公園のあるまち

■名古屋駅地区～伏見・大須地区

ビジネス機能の中核である名古屋駅地区と伏見地区・大須地区の中間地点において、各地区が相乗的に都市機能を向上させるための拠点連携

【実現に向けて】

- ・老朽化したビルの建替え誘導やリノベーションなどによるベンチャー企業の起業促進
- ・空きオフィスのオーナーと起業家とのマッチング
- ・水辺の活用や緑化の推進による良好なビジネス環境の醸成
- ・公共施設整備による低未利用地等の土地利用転換の誘導



○柳橋地区

- 名古屋駅至近に位置しながら、100年以上もこの地域の食文化を支え、新鮮な食材があふれる市場のあるまち

○納屋橋地区

- 堀川周辺において、近代名古屋の歴史が残り、都心部の貴重な水辺空間を活用したにぎわいのあるまち
- 城下町の名残をとどめる山車蔵や寺社のあるまち

○ささしまライブ24地区

- 名古屋の玄関口にふさわしい国際歓迎・交流拠点として国内外の人々が集うまち
- 中川運河で港とつながり、都心の賑わいと水辺の憩いが交わる緑豊かなまち

○名駅南地区

- 大規模な低未利用地の土地利用が進むことにより、様々なひと・まち・文化がクロスし、クリエイティブな取組みが盛んなまち

■都心南部の拠点とつながる都心界隈

○大須一丁目地区

- 若宮大通沿道はオフィス、また南側は共同住宅が立地することにより、隣接する名古屋駅地区、大須地区、伏見地区とともに発展するまち

○千代田地区

- 共同住宅に加え、大須、若宮大通、新堀川、鶴舞公園・名大病院に近接する地区として、オフィス、小規模店舗、小規模事業所等が集積するまち

■伏見地区・栄地区～大須地区

分断要素となっている若宮大通を白川公園も含めたオープンスペースとして活用することにより、栄地区・伏見地区と大須地区の間の人々の流れを誘導する拠点連携

【実現に向けて】

- ・若宮大通の高架下のイベント活用等
- ・南北横断のしやすさ改善
- ・若宮パークのフリンジ駐車場としての利用促進



■名古屋駅北とつながる都心界隈

○則武新町地区

- ものづくり文化・歴史資産を活かした産業観光施設、豊かな緑の環境を備えた賑わい施設、都心居住を促進する共同住宅などが立地するまち



■名古屋駅地区～名城地区

四間道の歴史的町並み・下町情緒ある円頓寺商店街・堀川の水辺空間や城下町のまち割りなどを巡ることで、名古屋の歴史に想いを馳せながら、名古屋に訪れた人々を名古屋城まで導く歴史・観光の拠点連携

【実現に向けて】

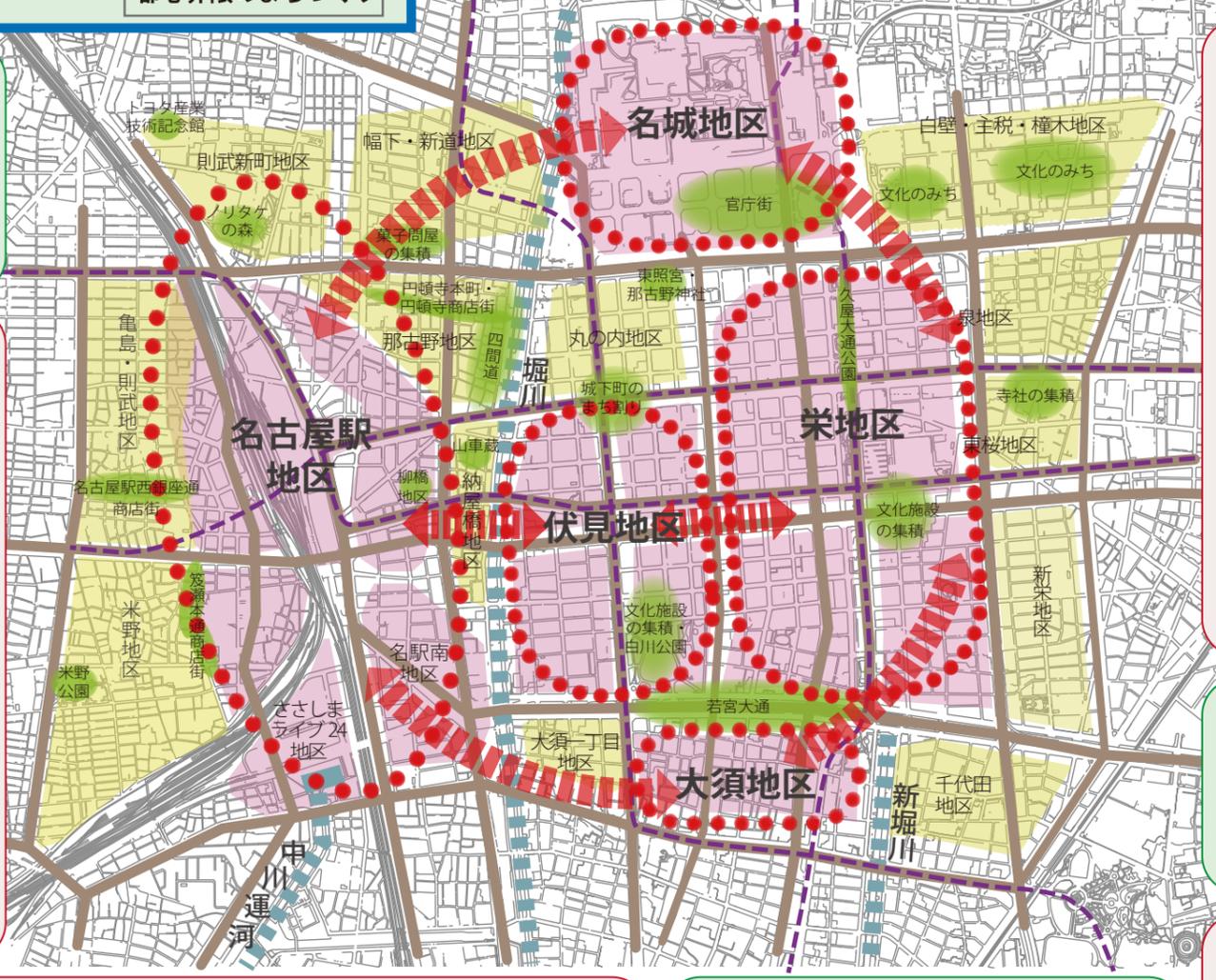
- ・城下町の面影を今に伝える土蔵群や町家などの歴史的な町並みの保全、及びリノベーション等による活用の促進
- ・地区内を手軽に巡れる移動手段の確保

○幅下・新道地区

- 菓子や玩具などの問屋街、扇子などの伝統的な手工業が集積する名古屋の伝統産業の雰囲気を残すまち

○那古野地区

- どこか懐かしい古き良き雰囲気のある円頓寺商店街や、清洲越しにより堀川端に形成された商人町の面影を残す土蔵群や町家などの歴史資源を有する四間道のある、歴史資源と住環境の調和のとれた街並みを次々に継承するまち



■栄地区～名城地区

天守閣木造復元や金シャチ横丁などで観光名所としての存在感を増す名城地区と再生される久屋大通の間の分断を解消し、来訪者の賑わいを結ぶ拠点連携

【実現に向けて】

- ・国の重要文化財である市庁舎等の活用や休日における官庁街のオープンスペース開放などの検討
- ・近代建築が点在する「文化のみち」を有する白壁・主税・榎木地区も含め、両地区を有機的に結びつける方策の検討



○白壁・主税・榎木地区

- 古くは武家地、明治期は陶磁器産業の中心地として栄え、近代洋風建築をはじめとする門・塀や豊かな緑が今なお残る閑静なまち

■都心北部の拠点とつながる都心界隈

○丸の内地区

- 桜通沿道はオフィス街、北側は小規模オフィスも入る共同住宅が立地するまち
- 名古屋城下の名残をとどめる那古野神社、東照宮のあるまち

■伏見地区～栄地区

コンサートホールや美術館などが集積している伏見地区と栄地区に共通する特性を活かし、芸術や文化に親しむ人々の回遊を促す拠点連携

【実現に向けて】

- ・両地区で共通したテーマを設定することによる施設間の連携
- ・芸術・文化施設を訪れた人々をもてなす飲食店舗の集積



民間投資の促進による都市機能誘導

目指すべきまちの将来像を実現するためには、必要となる都市機能を導入しなくてはなりません。開発計画の内容に応じた容積率の緩和等をインセンティブとして付与し、民間投資を促進することにより、必要となる都市機能の導入を官民協働で図ります。

<都心部における土地の高度利用>

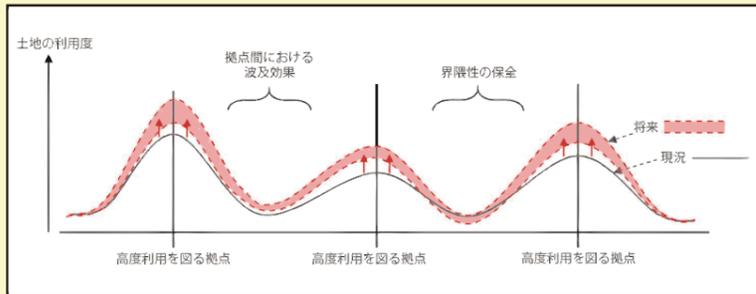
都心部のうち、特に名古屋駅地区・伏見地区・栄地区及びこの3つの拠点をつなぐ幹線道路の沿道においては、都市基盤や土地利用の状況を鑑みながら容積率を見直すとともに、地区計画等によって必要な都市機能の導入を誘導しつつ土地利用の健全な高度利用を図ることにより、圏域の中核としての拠点性を一層高めます。また、都心部全体においても、各拠点における土地利用の高度化の波及効果によって土地利用を活性化します。

特に都心部において導入を促進したい都市機能

- ・イノベーション創出を促進する MICE の開催などにつながるビジネス交流機能
- ・インバウンドを含む来訪者や MICE 開催の受け皿となる宿泊機能
- ・都心ならではの魅力を高める商業・娯楽・文化芸術施設などの集客機能
- ・賑わいの連続性を生み出す低層階で連担した店舗
- ・イノベーションや新たなビジネスの担い手となるクリエイティブな人材を集める快適で多様なオフィス
- ・大規模災害発生時における帰宅困難者の一時受け入れ施設や雨水貯留施設等の防災機能

<メリハリのある土地利用>

ただし、個性的な界隈については、都市の多彩な魅力を引き出すため、界隈性を保全します。開発誘導と界隈保全の両立を図る土地利用制度を検討し、メリハリのある土地利用を実現します。



地域の多様な主体によるまちづくりの促進

開発事業者だけでなく、地域の多様な主体によるまちづくり活動が、これからの都心部のまちづくりにとって大きな力となります。このため、こうした活動への支援と協働により、公共施設の良好な管理や賑わいを創出するイベントの開催などのエリアマネジメントをはじめとする地域のまちづくりの促進を図ります。

<地域のまちづくりへの支援>

地域で活動しているまちづくり団体等による、地域のまちづくり構想等の策定、道路・公園などのクリーンアップキャンペーンやイベントの開催などのまちづくり活動に対し、地域まちづくり制度をはじめとする支援により、地域のまちづくりを活性化させます。

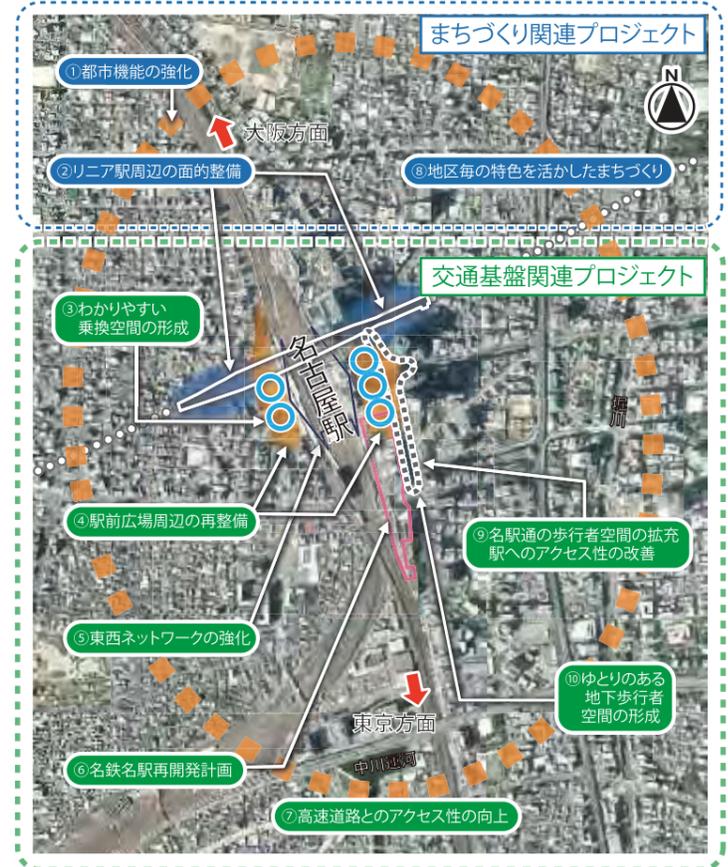
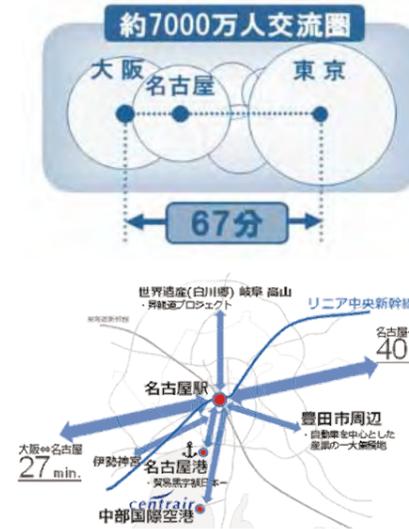


[イベントの開催] 栄ナミ音楽祭

(参考) 名古屋市の主な取組み

名古屋駅のスーパーターミナル化

東京～大阪間でリニアが開業すれば、東京・名古屋・大阪の3大都市圏が約1時間で結ばれ、名古屋は世界最大の7,000万人規模の交流圏の中心に位置することとなります。多種・多様な人材がダイナミックに交流し、日本を支える新たな価値を創造する都市の玄関口として、様々なまちづくりプロジェクトをすすめていきます。



久屋大通の再生

2027年(予定)のリニア中央新幹線の開業までの期間を対象に、栄地区のまちづくりを実現するための基本方針として2013年に策定した「栄地区グランドビジョン」に基づき、栄地区の活性化の起爆剤として久屋大通の再生を進めています。

北エリア・テレビ塔エリアでは、Park-PFI制度を活用した整備運営事業者を公募し、2020年の供用開始を目指して、広場や魅力的な収益施設の整備などを行います。

また、南エリアについても、2020年以降の事業化を目指して検討を進めています。



(北エリアの再生イメージ)

新たな路面公共交通システム (SRT) の導入

名古屋駅や栄、名古屋城、大須など、都心部の魅力ある地域をつないで回遊性を高め、賑わいを面的に拡大する新たな都市のインフラです。

2019年1月に、実現を目指すシステムの姿を示した構想を策定し、2027年(予定)のリニア中央新幹線開業に向けた段階的な導入について検討を進めています。

(SRT: Smart Roadway Transit)



走行空間のイメージ

乗降・待合空間のイメージ

堀川の再生

名古屋城築城と時を同じくして開削された「名古屋の母なる川「堀川」」において、治水機能の向上、水辺環境の改善、水辺のにぎわいづくりの3つを基本方針とし、「うらおいと活気の都市軸「堀川」の再生」を進めています。

市の中心部を南北に流れる堀川では、貴重な水辺空間として、市民団体との協働による水質浄化の取り組みなどにより、良好な水辺環境の形成を図るとともに、オープンカフェやイベントを実施するなど、水辺空間の利活用によるさらなる魅力づくりを進めていきます。

